


ERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)を受けられる患者様へ

患者様用

患者氏名	担当医師 ()				担当看護師 ()	
経過	検査前日	検査当日(検査前)	検査当日(検査中)	検査当日(検査後)	検査後1日目	検査後2日目～
達成目標	◆検査(治療)の内容が理解できる。	◆前処置(点滴など)を受けることができる。	◆安全に検査(治療)を受けることができる。	◆安静を守ることができる。 ◆腹痛や吐き気、37.5度以上の発熱がない。	◆腹痛や吐き気、37.5℃以上の発熱がない。 ◆食事を開始することができる。	◆腹痛や吐き気、37.5度以上の発熱がない。
治療・処置 薬剤 リハビリ	今まで飲んでた薬があれば、看護師へお渡しください。主治医の指示で続行か中止が決まります。 (糖尿病薬や抗凝固薬を内服されている方は看護師へお知らせください)	8時に朝の薬を飲んでください。 10時頃、左手より(膵臓の炎症を抑えるお薬の入った)点滴を始めます。 点滴は翌日の夕方頃まで3～4本続きます。 検査(治療)は午後からの予定です。 呼び出しがありましたらストレッチャーで透視室へお連れします。 	検査(治療)開始前に喉に麻酔を行い、点滴から眠くなるお薬を使います。 	検査(治療)は30分～1時間くらいで終わります。場合によっては長くなることがあります。 終了後病室で血圧と酸素の値を測ります。 検査(治療)が終了した後と夜に抗生剤の点滴をします。 終了後から2時間心電図モニター・酸素のチューブを装着します。 	朝と夜に抗生剤の点滴をします。 食事再開後、腹痛や発熱がなければ、夕方頃点滴は終了となります。 中止していた内服薬があれば、医師の指示に従って再開となります。その際はお知らせいたします。 	
検査	採血・心電図・胸のレントゲン撮影などの検査があります。				採血があります。	追加の検査がある場合は説明を行います。
活動・安静	制限はありません。 病院内でお過ごしください。	病棟でお過ごしください。 ※金属類や湿布、眼鏡、入れ歯などは外してください。		2時間ベッド上安静です。 時間になりましたら看護師が覚醒状態や歩行状態を確認します。 その後は病棟内でお過ごしください。	病棟内でお過ごしください。	病院内でお過ごしください。
栄養(食事)	制限はありません。	終日絶食です。 10時から飲水もできません。		2時間の安静時間が終わりましたら飲水できます(食事は絶食です)。 ※翌朝まで腹痛や発熱がなければ翌日のお昼から食事再開予定です。	血液検査の結果異常なく、腹痛や発熱がなければ、昼食より食事再開となります。	食事再開後は病院食を摂取してください。
清潔	制限はありません。				清拭ができます。ご希望時は看護師へお伝えください。 暖かいタオルをお持ちします。	制限はありません。
排泄	制限はありません。			安静の間はベッド上での排泄となります。看護師が介助を行いますので、ナースコールでお知らせください。	制限はありません。	制限はありません。
教育・指導 ・説明	治療の流れについてこの用紙を用いて説明させていただきます。 治療の同意書の確認を行います。					※退院後の生活について 食べ過ぎ・飲みすぎは控えましょう。